

【前回策定時のポイント】

（全体を通して）

今回の教育大綱の策定については、前回の教育大綱をブラッシュアップさせる形で策定を行った。

そして、幼児・児童・生徒が自ら好奇心や問題意識を持って学ぶことのできる、たとえ失敗しても何度でもチャレンジできる「心を磨く教育」を進めることとして策定を行った。

各項目での変更点については、以下のとおり。

（１）表紙

彦根城の写真を使用、基本方針から「心を磨く教育」を抜粋して記載

（２）彦根市教育行政の体系

教育大綱と総合計画、教育行政方針との位置関係がわかるように記載

（３）基本方針

好奇心やチャレンジ精神を養うことを表す方針として、「心を磨き可能性を引き出す彦根教育」をメインタイトルとして記載

前回の基本方針の部分に「自ら学ぶ好奇心」を追加するなど修正を加えサブタイトルへ記載

（４）基本目標

①「子ども一人ひとりの力を伸ばし、「生きる力」を育みます」のタイトル変更なし

「教職員の資質能力の育成について」追記、「課題解決型授業」から「主体的・対話的で深い学び」に記載を変更、情報通信技術の活用に関する記事を追記

②「持続可能な社会を創る人づくりを進めます」について「担う」から「創る」に変更

SDGs の概念、環境学習、国際理解教育の内容を追記

③「次代を担う彦根の子どもを地域で守り育てます」について「地域」を「彦根」に、「みんな」を「地域」に変更。

不登校について追記、「問題行動」から「諸課題」へ表現を変更、「青少年」から「子ども・若者」に表現を変更、コミュニティ・スクールに関する内容を追記

④「市民一人ひとりが生きがいをもって、心豊かに学び続けられるまちをつくります」のタイトル変更なし

国スポ・障スポの関係は表現を時点修正し、健康増進の内容を追記。「地域・市民団体・企業等との連携による専門的な分野を学ぶ機会の提供」について追記、公民館に関する内容を追記

⑤「歴史と伝統を生かし、文化の香り高いまちをつくります」のタイトル変更なし

文化や芸術、文化財に接する機会の提供を行う内容を追記

（５）用語集

課題解決型授業、持続発展教育についての記載を削除

SDGs、コミュニティ・スクールに関する記載を追加